

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヴィストカレッジ富山駅前		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 14日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	90名	(回答者数) 60名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 14日		～ 2024年 10月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づいた支援ができている	保護者との面談をと通し、できるだけ具体的な主訴・ニーズの聞き取りができるよう意識的に行っている 個別支援計画の目標をスモールステップで立案することをチーム全体で意識している	障害特性に基づいた支援を行っていくためにも、スタッフへの支援や面談での聞き取り時に必要なアセスメントの採り方等の研修をしていく
2	就労に向けた支援プログラムや、自立通所支援等、将来の自立に向けた支援が充実している	施設内外の仕事体験や、進学・就労のニーズに合わせたプログラム、自力通所に向けた支援等、将来の自立にむけた支援の支援プログラム内容を作成している	中高生向けのフォーマルアセスメントの充実を目指して検討していく
3	イベント等活動プログラムが固定化しないように工夫している	イベント内容を検討するミーティングを実施しならチーム全体でアイデアを持ち寄り検討をしている	保護者・利用者ともにニーズ調査アンケートを実施し、ニーズの変化等を調査し支援内容に活かす

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内(玄関、待合室、ワーク室等)の広さに限りがあり、洗面などスペースが事業所を出た建物内にある	料理等のイベントの際、衛生面の配慮として各児童が手を洗った後に靴を触ってしまう環境になっている	建物の構造上、部屋から洗面所までに扉や廊下を介するため物理的に改善が難しいところではあるが、対策として、調理時は手で触らず靴の着脱ができるものをご用意することを検討している
2	保護者会や避難訓練、自己評価結果の開示、各種マニュアル等、保護者全体に情報公開しているが全体認知が進んでいる現状とは言い難い	保護者がエントランスを使用する機会が限られており、事業所内での掲示やHP公開等では手に取ったりする機会が少ない	・LINE、メール等を活用し、公開情報をお知らせする ・カレッジ日よりなどを使用し、実施した内容を報告する
3	学校との連携について周知・実施がいきわたっていない	お子様のヴィストカレッジでの実態や保護者ニーズ等必要に応じて連携を実施しているが、関係機関連携のご理解を頂く周知ができているとは言い難い現状。また、令和6年度から自立サポート加算の導入があり、関係機関との連携は増えている現状	・関係機関連携等の制度・仕組みに関しての保護者向け周知を検討する